

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年3月30日～2017年4月5日)

平成 29 年(2017 年)4 月 7 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>全国裁判評議会法の改正案提出 駐ベラルーシ・ロシア大使、ザパド演習参加のロシア兵は終了後帰国予定と発言 国防副大臣、ヘリ調達の必要性は高くないと発言 国防大臣、ビスワ計画(対弾道弾ミサイル)を年内に契約予定と発言 統合全般司令官、米州兵司令官と会合 シアラ・リビア外相のポーランド訪問 参謀総長、欧州共同軍からのポーランド軍の人員削減に言及 ドウダ大統領と国防大臣との会談 国防大臣、チェコの国防大臣と会談 リトアニア国防省、国家安全保障脅威評価を発表しロシアの脅威に警鐘 ヴァシチコフスキ外相の EU 外務理事会への出席 サンクトペテルブルグの地下鉄爆破事件に関するポーランド政府の反応 空軍基地建設工事により、F-16戦闘機を移駐 最新鋭レオパルド戦車、ワルシャワ東部へ移動 国防次官、ドイツ国防省防衛政策局長と会合 ロシア原潜、今夏バルト海に初入海予定 ポーランド政府、ボスニア・ヘルツェゴビナと軍事協力協定締結 大統領、ヴィスワ砂嘴の横断運河建設法に署名 国防省報道官にヴォイトヴィチ少佐を任命 国防副大臣、ブラジル訪問 在ウクライナ・ポーランド在外公館の再開 シリアのイドリブにおいての化学兵器使用に関する外務省の声明 ヴァシチコフスキ外相のストラスブルグ訪問 ヴァシチコフスキ外相のシリア支援に関する会議への出席 ウクライナ東部に、ロシア軍展開</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済</p> <p>国有財産省の閉庁終了 モラヴィエツキ副首相訪米 政策金利据え置き LOT運航路線計画 3月の新車登録台数は増加 PGGとKHWの統合手続が完了 エネルガ社、EVカーシェアリングを開始 国連調査団がポーランド入りー2018年COP開催に向け 米国とシェールガス輸入について協議</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 パスポートダウンロード申請書のご案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>								

ポーランド日本国大使館
ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

政 治

内 政

全国裁判評議会法の改正案提出【4月5日】

5日、ポーランド政府は下院に対し、全国裁判評議会法の政府・与党改定案を提出し、審議が開始された。本改定案は、国会上程以前から、現全国裁判評議会、最高裁判所、最高行政裁判所、人権擁護

官（憲法上の人権オンブズマン）及び下院法制局からも憲法違反の疑い等が指摘されており、欧州安全保障協力機構の民主制度・人権事務所、欧州評議会のムジニェクス人権委員等からも懸念が表明された。

外交・安全保障

駐ベラルーシ・ロシア大使、ザパド演習参加ロシア兵は終了後帰国予定と発言【3月30日】

30日、スリコフ駐ベラルーシ・ロシア大使は、9月のザパド演習終了後、同演習に参加したロシア兵はベラルーシ国内に残留せず、本国へ帰国する予定である旨述べた。

5月に予定される共同訓練の準備、想定等について意見交換を行った。

シアラ・リビア外相のポーランド訪問【3月30日～4月1日】

3月30～4月1日、シアラ・リビア外相がポーランドを訪問し、シドゥウオ首相、ヴァシチコフスキ外相、テルレツキ下院副議長、シュテルスキ大統領府國務長官及びホロンジ開発副大臣との会談を含む政府間協議が実施され、地中海地域及び北アフリカの安全保障状況及び両国の経済・投資における協力関係二国間関係、リビア情勢、和平プロセス及び経済における協力関係の可能性について意見交換した。

国防副大臣、ヘリ調達の実用性は高くないと発言【3月30日】

20日、コブナツキ国防副大臣は、特殊部隊用のヘリを8機、海軍の哨戒用のヘリを8機調達する予定であったが、交渉条件によっては、海軍用ヘリを当初4機に減らして調達し、別途追加補充することもあり得る旨述べた。

参謀総長、欧州共同軍からのポーランド軍の人員削減を発言していた【3月31日】

31日、通信会社に流出した参謀総長補佐ジェジツツ准将の署名した文書によると、昨年12月、ゴツウ参謀総長（当時）は、マドリードにて開催された欧州共同軍の会合において、ポーランドは欧州共同軍司令部から2年以下に同軍将校を削減すると伝えていた。

国防大臣、ビスワ計画（対弾道弾ミサイル）を年内に契約予定と発言【3月30日】

30日、マチェレヴィチ国防大臣は、対弾道弾対処能力を持つ地对空ミサイルを調達するビスワ計画として、年末までにPAC-3MSEを8個セット調達する契約を締結し、契約後2年以内に配備する予定であり、総額300億ズロチで、オフセット交渉が契約の鍵になる旨述べた。

ドウダ大統領と国防大臣との会談【3月31日】

31日、ドウダ大統領は、ソロフ国家安全保障局長官、国防副大臣、次官、参謀総長、各司令官等が同席し、マチェレヴィチ国防大臣との会談を行った。会談後の記者会見において、同大統領は、会談ではエルブロングの多国籍師団司令部（MND-NE）の準備の進捗状況特にNATO各国の協力状況、領域防衛軍の将来体制、ポーランド軍の近代化計画、主要国の駐在武官の不在状況について議論し、回答を得た旨述べた。一方で、マチェレヴィチ国防大臣は、同記者会見を欠席した。

また、ジョーンズ駐ポーランド米国大使は、本契約によりポーランドは最新技術を搭載した最先端の地对空システムを導入できる旨述べた。

統合全般司令官、米州兵司令官と会合【3月30日】

30日、統合全般司令官ミカ少将は、ポーランド訪問中の米国イリノイ州兵司令官ハエイ中将と会合し、1993年から継続しているイリノイ州とポーランド軍との交流の継続、下士官交流等について意見交換を行った。また同ハエイ中将は、ルブリンのリトアニア・ポーランド・ウクライナ共同旅団司令部を訪問し、

カチンスキ・法と正義(PiS)党首は、国防大臣は個性の強い人物であるが、統制が必要だと思ふと述べ、チスケヴィチ・市民プラットホーム(PO)議員は、国防大臣を恐れる大統領は軍の最高司令官にふさわしくないと述べた。

国防大臣、チェコの国防大臣と会談【3月31日】

31日、マチェレヴィチ国防大臣は、ポーランド訪問中のストロピニキ・チェコ国防大臣と会談し、エルブロングの多国籍師団司令部(MND-NE)へ6名のチェコ軍将校の派遣予定、チェコ軍の1個機械化旅団の多国籍師団司令部及び北東多国籍軍団(MNC-NE)の両方への配属、2019年、チェコとポーランドの共同EU戦闘群の編成、サイバー防衛、ザパド-17演習等の地域情勢等について意見交換を行った。

リトアニア国防省、国家安全保障脅威評価を公表しロシアの脅威に警鐘【4月3日】

3日、リトアニア国防省は、国家安全保障脅威評価を公表し、ロシアは24時間以内にバルト諸国を占領できる能力と準備を行っているとしてロシアの脅威に警鐘を鳴らした。カロビス・リトアニア国防大臣は、NATOの現在の展開兵力では不十分で、防空能力、空軍力を増強すべき旨述べた。

ヴァシチコフスキ外相のEU外務理事会への出席【4月3日】

3日、ヴァシチコフスキ外相は、ルクセンブルクにて開催されたシリア、リビア及びイエメンでの情勢を主題にしたEU外務理事会の出席し、ポーランドは地域での難民支援に積極的な支援に関して言及した。

サンクトペテルブルグの地下鉄爆破事件に関するポーランド政府の反応【4月3日】

3日、ロシア西部のサンクトペテルブルクの地下鉄に、10人の死亡が確認された爆発事件に対し、ドゥダ大統領はプーチン大統領宛に弔辞のメッセージを送付し、外務省も哀悼の意を表する声明を発表した。

空軍基地建設工事により、F-16戦闘機を移駐【4月4日】

4日、国防省は、ウッチ近郊のワスク基地の滑走路拡張工事のため、同基地所属の16機のF-16戦闘機をボズナン近郊のクシェシニ基地に移駐すると発表した。工事費用は、米国政府の東方境界強化策の一環の予算で配当され、工期は、2018年末までの予定である。

最新鋭レオパルド戦車、ワルシャワ東部へ移動【4

日】

4日、ポーランド南西部ジャガンに駐屯する第34騎兵機甲旅団の1個戦車大隊の最新鋭レオパルド戦車は、ワルシャワ東部のベソワに駐屯する第1機甲旅団の戦車大隊に移動した。

国防次官、ドイツ国防省防衛政策局長と会合【4月4日】

4日、シャトコフスキ国防次官は、ドイツを訪問し、ゲエル・ドイツ国防省防衛政策局長と会合を行い、ポーランドとドイツの前方展開大隊(eFP)の活動状況、多国籍師団司令部の準備、二国間防衛協力の推進等について意見交換を行った。

ロシア原潜、今夏バルト海に初入海予定【4月4日】

4日、ロシア海軍は、タイフーン型原子力潜水艦のドミートル・ドンスコイ及びピョートル・ヴェルキの2隻は、6月に開催される国際海軍兵器展示会に出展のため、初めてバルト海に入海予定であると伝えた。

ポーランド政府、ボスニア・ヘルツェゴビナと軍事協力協定締結【4月4日】

4日、クラフチック駐ボスニア・ヘルツェゴビナ・ポーランド大使は、ボスニア・ヘルツェゴビナ国防省において、ポーランド政府を代表して、同国との軍事協力協定を署名した。同協定の内容は、ポーランド軍による追加支援、二国間協力の推進等である。

大統領、ヴィスワ砂嘴の横断運河建設法に署名【4月4日】

4日、ドゥダ大統領は、ヴィスワ砂嘴を横断する運河建設工事に関する法律に署名した。同運河は、2018年から2020年まで工事を行い、総工費8.8億ズロチで、本運河の完成により、ロシア領を通過することなく、バルト海へ通航できるようになり、ロシアから独立する意味もある。一方、地域住民及び環境保護団体は運河の建設に反対している。

国防省報道官にヴォイトヴィチ少佐を任命【4月4日】

4日、国防省は、ミシェヴィチ前報道官辞職後、空席であった国防省報道官に、アンナ・ヴォイトヴィチ少佐(36)を任命したと発表した。

国防副大臣、ブラジル訪問【4月4日～4月5日】

4～5日、コブナツキ国防副大臣は、ブラジルを訪問し、同地で開催中の国際武器装備展示会に参加し、ラテンアメリカ市場へミエレッツ社のM-28小型輸送機の販売促進等を狙いとして、ポーランドの軍事装備品の紹介を行うとともに、ブラジル、メキシコ、コロンビア、エクアドル、アルゼンチン等と二国間会談を行った。

在ウクライナ・ポーランド在外公館の再開【4月4日】

4日、ポーランド外務省は、3月28日に起きたウクライナ西部のウツクにあるポーランド領事館の攻撃を受けて閉館していたポーランドの在ウクライナ公館の再開を発表した。また同日、国家検察庁は、同事件の調査は3月29日をもって開始され、公安庁(ABW)が実施している旨を発表した。

シリアのイドリブにおける化学兵器使用に関する外務省の声明【4月4日】

4日、ポーランド外務省は、シリアのイドリブにおいて、58名が犠牲となった攻撃に対する強い憤り、昨今のシリアにおける戦闘の拡大に関する懸念及び犠牲者への追悼の意を表する声明を発表した。

ヴァシチコフスキ外相のストラズブルグ訪問【4月4日】

4日、ヴァシチコフスキ外相は、ストラズブルグを訪問し、タヤーニ欧州議会議長、マック＝アリストア

欧州議会外務委員長及びカマル欧州保守改革グループ議長と会談し、英国のEU離脱、対ロシア関係について意見交換を行った。

ヴァシチコフスキ外相のシリア支援に関する会議への出席【4月5日】

5日、ヴァシチコフスキ外相は、ブリュッセルにて開催された、EU、ドイツ、クウェート、ノルウェー、カタール、英国及び国連が出席した「シリアとその周辺地域の将来を支援」と題した対シリア支援に関する国際会議に出席した。

ウクライナ東部に、ロシア軍展開【4月5日】

5日、ウクライナ国防副大臣は、NATO・ウクライナ合同委員会において、ロシアは、約4.3万人のロシア兵をクリミア半島からウクライナ東方地域に展開し、1300両以上の戦車及び装甲車、約300両の榴弾砲、約700機の作戦機、24隻の艦船を配備している旨を発表した。

経 済

経済政策

国有財産省の閉庁終了【3月31日】

コバルチク無任所大臣は、年初に閉鎖のための法律が発効していた国有財産省の廃止が、3月31日に執行されたと発表した。

モラヴィエツキ副首相は、2日からワシントン、ボストン、ニューヨークを訪問。ペリー・エネルギー長官、ロス商務長官、ジャスター国際経済担当次席補佐官、ラガルドIMF専務理事及びイエレンFRB議長他と面会した他、講演等を行った。

モラヴィエツキ副首相の訪米【4月3日】

マクロ経済動向・統計

政策金利据え置き【4月5日】

中央銀行は、政策金利の1.5%据え置きを決

定した。2015年3月以来史上最低の政策金利を維持している。

ポーランド産業動向

LOT運航路線計画【4月3日】

ミルチャルスキ・ポーランド航空(LOT)CEOは、ワルシャワ－ロサンゼルス線の就航を発表した。LOTにとって北米で4番目の就航地であると同時に最長の路線になる。同CEOは、今後も、長距離路線を開拓していく意向を表明している。

3月の新車登録台数は増加【4月5日】

自動車産業専門調査会社Samarによると、2017年3月の新車登録台数(乗用車及び商用車)は、55,526台であり、前年同月比では24.6%、前月比では28.9%の増加であった。

エネルギー・環境

PGGとKHWの統合手続きが完了【3月31日】

ポーランド鉱業グループ(PGG)によるカトヴィツェ石炭ホールディングズ(KHW)の買収という、大

手国有炭鉱企業同士の統合手続きが完了した。今回の合意では、PGGはKHWの資産を買い取るともに25億ズロチの負債を引き受けることから、実

際の資金移動は行われない。また、国有電力企業や政府系投資会社等の出資者が合計10億ズロチの資金をPGGに投入する。PGGは今年末までに黒字の計上が見込まれている。署名式に同席したトフジェフスキ・エネルギー大臣は、EU最大の炭鉱企業の誕生を歓迎すると共に、今回の合意が石炭の安定的な供給を保障すると述べた。

エネルギー社、EVカーシェアリングを開始【4月3日】

国有電力会社エネルギー社は、ポーランドで初の試みとなる電気自動車を対象としたカーシェアリング事業をグダンスクで開始すると発表した。法人対象のサービスで、契約した法人事業者はエネルギー社の保有する電気自動車を利用できる。当初は同本社の入居するビルを事業拠点とし、今後2年間で新たに4つの事業拠点を開設する予定。

国連調査団がポーランド入りー2018年COP開催に向け【4月2日～4月4日】

2018年の気候変動枠組条約締約国会議(COP)の開催地にポーランドが立候補していることに

関し、国内の開催候補地であるグダンスクを国連の調査団が訪問した。同市関係者は、大気が比較的清浄である事や再生可能エネルギーを推進していることを強みとしている。3日間の滞在期間中、市内関係機関やホテル、交通手段の調査や展示会等の視察を行った。グダンスクの後、もう一つの候補地であるカトヴィツェに移動し、同様の調査を行うことになっている。

米国とシェールガス輸入について協議【4月4日】

訪米中のモラヴィエツキ副首相は、ペリー・エネルギー長官と面談し、ポーランドへの米国産シェールガスの輸入について意見交換を行った。モラヴィエツキ副首相によれば、友好的な形で意見交換が進んだという。ポーランドとしては、シヴィノウィンチエ LNG 基地を通じた欧州内へのガスの供給を考えており、米国からのガス輸入を拡大したい考え。同副首相は、併せて停滞しているポーランド国内のシェールガス開発について、今後数年のうちに開発が進むとの見通しを示した。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日9:00-19:00 火曜～金曜日9:00-17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-7300，Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp、住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【開催中】日本の浮世絵展「女：美・カ・忘我」【2月14日(火)～5月3日(火)】

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催中です。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示されています。

開催場所：クラクフ国立博物館, Al. 3 Maja 1

詳細：<http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

【開催中】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日(土)～5月7日(日)】

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィッチ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催中です。

開催場所：ワルシャワ国立博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.mnw.art.pl/>

【開催中】ポフシン植物園における日本月間【4月6日(木)～5月7日(金)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター主催による「ポフシン植物園における日本月間」が開催中です。入場料：10PLN。

プログラム：

4月6日～5月3日：ルドミワ・コツ氏及びロムアルド・ザビエルスキ氏による日本の写真展

4月1日～5月7日：スタニスワフ・ロシュコフスキ氏による写真展「桜と日本」

5月6日～7日：観賞用日本鶏の展示会

開催場所：ワルシャワ市（マゾフシェ県）、ポーランド科学アカデミーの植物園・ポフシン生物多様性保全センター, ul. Prawdziwka 2

詳細：<http://www.ogrod-powsin.pl/dzialalnosc-kulturalna/plan-wystaw-i-wydarzen-kulturalnych-2017>

【予定】学会「ポーランドにおける日本文化の関心拡大：武道の健康・社会・教育・哲学的側面」【4月8日(土)】

ウッチにて、スレイ・ノ・モン基金主催による学会「ポーランドにおける日本文化の関心拡大：武道の健康・社会・教育・哲学的側面」が開催されます。日本文化・武道の社会・健康に対する影響を紹介する講演が予定されています。

開催場所：ウッチ（ウッチ県）、人文経済大学, ul. Rewolucji 1905 roku nr 52

詳細：

<http://sureinomom.pl/events/ogolnopolska-konferencja-naukowa-zaszczepianie-kultury-japonskiej-polsce-lo-dz-8-kwietnia-2017-r/>

【予定】第6回ドルノシロンスク数独選手権 大会【4月8日(土)】

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ工業大学主催による『第6回ドルノシロンスク数独選手権大会』が開催されます。

開催場所：ヴロツワフ市（ドルノシロンスキエ県）、Centrum Kongresowe Politechniki Wrocławskiej, ul.

Wybrzeże Wyspiańskiego 27

詳細：<http://wmat.pwr.edu.pl/3053433,231.dhtml>

【予定】第2回国際柔道選手権大会「サメ柔道カップ」【4月8日(土)～9日(日)】

マルキ市にて、学生スポーツクラブ「サメ柔道」主催による第2回国際柔道選手権大会「サメ柔道カップ」が開催されます。

開催場所：マルキ市（マゾフシェ県）、ul. Duża 3

詳細：<https://www.facebook.com/events/1348591101858227/>

【予定】夏坂眞一郎氏によるレクチャーデモンストレーション「日本のフィギュアの世界」【4月20日(木)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、夏坂眞一郎氏によるレクチャーデモンストレーション「日本のフィギュアの世界」が開催されます（日本語、ポーランド語逐次通訳）。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

詳細:<http://www.pl.emb-japan.go.jp/files/000244301.pdf>

【予定】第11回ウッチ大学日本文化デー【4月22日(土)～23日(日)】

ウッチ市にて、八雲琴クラブ協会主催による『第11回ウッチ大学日本文化デー』が開催されます。日本についての講義、武道デモンストレーション、ワークショップなどが予定されています。

開催場所: ウッチ県, ウッチ市, ul. Rewolucji 1905 r. 39/41

詳細:<http://yakumo-goto.pl/index.html>

【予定】金継ぎ展【4月24日(月)～5月8日(月)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、金継ぎで修復された器の展示が開催されます。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)